

【中学校数学 活用問題 中2-2】

「キンカンは当たりやすいかな」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点			
			関意	思判表	技	知理
(1)	<p>○ 確率の意味について理解しているかどうかをみる。</p> <p>ここでは、ある試行を多数回繰り返したときに、ある事象の起こる回数の割合は一定の値に近づくという傾向が見られる。このような「大数の法則」を基にして確率の意味について理解していることが求められる。</p>	<p>○ 2年-D-(1)-ア</p> <p>確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>				○
(2)	<p>○ 「○」が3面、「☆」が2面「×」が1面のさいころを2個同時に投げたとき、どの面の組み合わせが最も多く出るかを判断し、説明する問題である。</p> <p>ここでは、対象となる事象に関する事実を表や図を使って明らかにし、根拠を説明できるかどうかをみる。</p>	<p>○ 2年-D-(1)-イ</p> <p>確率を用いて不確定な事象をとらえ説明すること。</p>	○			